

モトヤホンコン5

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。 沙羅双樹の花の色、盛者必衰の

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU abcdefghijklmnopqrstu 0123456789

幻の活字書体を復刻!明朝とゴシックの特徴を持つ「モトヤホンコン」

モトヤホンコンは、明朝体のようなデザインと、ゴシック 体を思わせる力強さを併せ持った書体です。勢いのある文字 が特徴的なこの書体は、中国・香港で着想を得たことから「ホ ンコン」と命名され、1972年に活字書体として販売しました。 今回、活字時代の雰囲気はそのままに、デザインをさらに洗 練させ、デジタルフォントとして帰って来ました。



▶活字書体「ホンコン」制作当時の原字の一部。墨入れの 筆の跡や修正の白がはっきりと残っている。

文章をより印象的にする書体設計

モトヤホンコンは、明朝体とゴシック体の両方の良さを兼ね備えています。ゴシック体から受け継いだ、太くはっ きりとした骨格は、文字を印象強く彩ります。また明朝体譲りの特徴から生まれる読みやすさによって、見出しで の大きいサイズは勿論、本文用の小さいサイズで使用しても視認性を損なうことなく効果的な文章表現が可能です。

明朝体と同じような強弱を持った 左右の払いと点

モトヤホンコンを特徴付ける、明 朝体を強調したような形のハネ







縦画の先端や、横画と肩にある、 明朝体風の力強いウロコ

画線の間隔やフトコロといった 骨格はゴシック体のものを採用

書体組見本

(12pt)

そのころ、東京中の町という町、家という家 では、ふたり以上の人が顔をあわせさえすれば、 まるでお天気のあいさつでもするように、怪人 「二十面相」のうわさをしていました。「二十面 相」というのは、毎日毎日、新聞記事をにぎわ している、ふしぎな盗賊のあだ名です。

[16pt]

ある日の暮方の事である。一人の下人が、 羅生門の下で雨やみを待っていた。

(24pt)

来ぬ人を まつほの浦の 夕なぎに 焼くや 藻塩の 身もこがれつつ

は

謀 夜景 る も よ は

白 熊 か たちを の 葉 ような犬を二疋つれて、 0) 若 か さかさし して、ぴ () 士 か たとこを、 かする鉄砲をかついで、 か IJ だい ぶ山奥の、 ij なことを云 ス の